

一般社団法人 三浦市医師会の

在宅医療セミナー

「三浦半島の小児医療と

小児在宅医療の現状」

先生方、三浦市の在宅医療の取組みを増やしましょう！

2025年・・・5人に一人が75歳以上という超高齢社会です。高齢者の在宅療養の需要が増加する一方、もう一つの社会問題である少子化の中、小児医療においても、在宅での治療を必要とする子どもたちがいます。

病院の先生・・・三浦市の有床一般病院は1か所です。在宅療養支援病院としても機能していますが、今後は、病床がいっぱいになり、要介護状態であっても、すぐに、入院することや病院で看取ることが難しくなるでしょう。また、栄養摂取方針によっては介護施設での引受が困難な場合が多くなります。在宅医療・介護連携しながら、医療の役割を果たすことが重要です。

診療所の先生・・・通院が困難になってくる方が増えてきています。これからますます「かかりつけ医」としての使命が求められる時代になってきています。在宅医療への参入はいかがでしょう！

日々求められる機能と、変化していく医療。在宅や施設での在宅療養の体制を考え、整え、準備していくことが重要です。在宅医療の現状と課題を共有し、一丸となって取組を進める足がかりと仕組づくりを目指して・・・

日時 令和6年6月13日（木）19時00分～20時00分

会場 マホロバマイズ三浦 14階「ラ・メール」

対象 医師、歯科医師（診療所・病院勤務医師、その他）、薬剤師、訪問看護師、リハビリテーション専門職、歯科衛生士、管理栄養士、栄養士、社会福祉士、介護職、その他このセミナーを必要とする関係者 ※医師の診療科は問わず。

定員 先着 70名

主催 一般社団法人三浦市医師会

共催 三浦市、神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター

協力 三浦市地域ケア連携会議

内容とお申し込み方法は
裏面をご覧ください

プログラム

主催者あいさつ

三浦市医師会 【座長】理事 藁谷 収（三浦診療所）

講演 「三浦半島の小児医療と小児在宅医療の現状」

講師 横須賀市立うわまち病院 副管理者 小児医療センター長

宮本 朋幸 先生

平成 2年 筑波大学卒業

平成 2年 筑波大学付属病院小児科医員

平成 9年 神奈川県立こども医療センター循環器科

平成11年 同医長

平成16年 横須賀市立うわまち病院小児科科長

平成17年 同部長

平成20年 横須賀市立うわまち病院小児医療センター長

平成30年 横須賀市立うわまち病院 副管理者

【表彰】

平成13年 日本小児循環器学会

Young Investigator's Award 受賞

【専門医】

小児科専門医、小児循環器専門医、成人先天性心疾患専門医

【所属学会】

米国心臓協会特別会員（FAHA）、日本小児科学会 代議員、

日本小児循環器学会 評議員（専門医認定委員会、専門医制度検討委員会）、

日本てんかん学会、日本小児神経学会、日本川崎病学会、日本小児救急医学会、

日本成人先天性心疾患学会 など



参加申込 別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにて下記までお申し込みください。

締 切 **令和6年6月7日（金）必着**

期限前でも、先着70名になり次第締め切ります。



お問い合わせ

三浦市医師会事務局

TEL046-881-2376/FAX046-881-2392

Email : me156301@pastel.ocn.ne.jp